

MCR 学級 思春期に関する講演会報告

MCR 学級 思春期に関する講演会を下記の通り開催いたしました。内容は以下の通りです。

1 日 程

令和 4 年 12 月 5 日 (月) 10:00~12:00 アートスポットまつど

【YouTube 配信】令和 4 年 12 月 13 日(火)~令和 5 年 1 月 13 日(金)

2 内 容

(1) 開会 課長挨拶

(2) 講演会 10:10~11:40

演題「令和コロナ禍：思春期の子ども理解」

講師 早稲田大学大学院・河村茂雄研究室

跡見学園女子大学非常勤講師

千葉県スクールカウンセラー

元松戸市立中学校 校長 生貝 博子先生

(3) 質疑応答

(4) 閉会

3 参加者

当日参加者 24名 YouTube 配信参加者 34名

4 概 要

松戸市内の小中学校、および松戸市教育委員会でご活躍された生貝博子先生を講師にお迎えし、コロナ禍における思春期の子どもに関する講演会を開催しました。年度当初の申し込みには、大勢の方が参加の意向を示しており、子育てにおいて「思春期」の子どもへの対応で不安に思っている保護者が多いことが浮き彫りになりました。ただ、各学校でコロナの感染者が増え始めたこともあり、YouTube 配信の希望者が増え、当日の参加者が少なく残念でした。

「中二病」「親ガチャ」という話題から始まり、コロナ禍になり、成長にとって必要な「遊び」が少なくなってきたことによる現状についての話がありました。「親に嘘（親に言えない秘密）をついたのはいつ?」「親のことをウザイ（うっとおしい）と思ったのはいつ?」など、それぞれの「思春期」をふりかえりながら、「反抗期」も成長にとって、なくてはならない時期であるというお話もありました。身体も心も（実は脳も）変化する時期で、親も子どもの成長の機会であるにとらえ、「先回り」せず、見守っていくことの大事さを示唆していただきました。

参加した学級生からは、「自分が良かれと思い子どもにしてきたことが子どもの成長の妨げにもなるのだという事がわかり、子どもとの接し方を見直そうと思いました。」「失敗を乗り越えた経験が自己肯定感を高めるというのはこれから生かせそうな気がします。」「今、こういう時期か…と納得できた。子どもが育って大人にならないと安心できないが、家教等で他の母親たちと友達になって悩みながらも成長を見守りたい。」「『たくさんのかすり傷を』『親は伴走者』の言葉が印象に残りました。」など、それぞれの保護者にとって得るものも多い講演になったようです。

今後、社会教育課としても「思春期」に関する研修会の持ち方や内容をさらに検討し、よりニーズに答えるものにしていきたいと思えます。

